

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症の影響もほとんどなくなってきたので、ますます良くなっていく。
	◎	乗用車販売店（販売担当）	・4月のように、5～7月と順調にいけば、ものすごい勢いで、回復してきている頃なのではないか。当社の周りは観光地を控えているので、ホテル、売店、ドライブイン関係と、今の状態が2～3か月先も続き、かなりの回復状態まで持っていけると思っている。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・1か月の予約獲得件数が、新型コロナウイルスの感染拡大後の最多件数を3か月連続で更新中のため、良くなる。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、宿泊、料飲部門、宴会共に、順調に来客数が増えている。宿泊、料飲部門では新型コロナウイルス感染症発生前の2018年売上に迫る勢いの95～98%まで回復している。宴会も健闘はしているが、2018年比で78～80%であり、官公庁を始めとした各種団体の本格的な動きに期待している。
	◎	旅行代理店（経営者）	・外国からの旅行者も増え始め、単価が上昇している。
	◎	旅行代理店（所長）	・地域の様々なイベントも新型コロナウイルス感染症発生前の状態に近いくらい再開しつつある。既に伸びが著しい海外からの来訪者に加えて、国内旅行者の来訪にも期待が持てる。
	◎	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症発生前に戻ったと判断している。
	○	百貨店（店長）	・4月末から5～6月にかけて、例年、徐々に来客数が増加するので、ゴールデンウィークが現況改善への大きなきっかけになると推察している。
	○	百貨店（店長）	・人流は確実に戻ってきている。
	○	スーパー（総務担当）	・値上げが続き、景気は悪くなるかと思われたが、新型コロナウイルス感染症も収束してきており、今後、景気は上向きになるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・店舗前道路の交通量増加は顕著に感じられる。それに伴い、売上も順調に伸びてきている。特に、今までの土日の売上は平日の7割程度であったところ、現状は行楽客が増えたこともあり、特に好調である。しかし、利益に関しては、電気代と経費増加に圧迫され、まだ新型コロナウイルス感染症発生前には戻っていない。
	○	コンビニ（経営者）	・気温が高くなれば、客足も伸び、売上も上がると予想される。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症に対する緊張感が減少したようで、客の動きが活発になってきているように感じられる。今後、更に良くなると期待している。
	○	衣料品専門店（統括）	・何とんでも、当店は祭りがないと本当に商売にならない。祭りが開催される様子がうかがえることで、今後の商売につながると思っている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・車両受注が増えてきており、受注残も増加している。
	○	住関連専門店（仕入担当）	・人の流れが多くなり、消費傾向も、上昇している商品単価に慣れつつある。客単価は上がっているため、そこに来客数が付いてくれば、おのずと売上は上がってくる。
	○	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・客の動きが活発になっていきそうで、この傾向が続くと思われる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・ゴールデンウィーク後の経過にもよるが、夏季のイベント等の実施も早々に決まっっていて、人流が後退する要因は少ない。
	○	一般レストラン（経営者）	・少人数ではあるものの、団体客が少しずつ増加している。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・何か大きな出来事がなければ、現状と変わらず人が動くのではないかと。
○	タクシー（経営者）	・夜の動きも良くなってきたので、この先も良くなるとみている。	
○	通信会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の各種制限の緩和による、景気の上向きがあると感じている。	
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症発生前に少しずつ戻り始めた様子も見られ、来園者数が増加しそうである。	

○	競輪場（職員）	・インバウンドによる外国人の来日が多くなるが、一方で世界の情勢不安や、人口減少による労働者の不足等の中小企業への波及といった不安要因がある。
○	設計事務所（所長）	・価格高騰で住宅新築の予定は難しいと思われるが、事業系の建築計画は再開するのではないかと。
□	商店街（代表者）	・大手企業では従業員の賃金が改善されたようだが、地方の中小企業には及んではないようである。また、当店の来店客は高齢の年金受給者が多いこともあり、景気は良くない。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・電気料金の値上げが迫っている。また、諸物価の値上がりはまだ続いているので、客は買い控えをしている。当分、この状態が続くのではないかと。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・4月末に、政府が入国時の水際対策を緩和したため、今後は、国内旅行より海外旅行の動きが活発化するのではないかと懸念が、周辺の観光業者にはある。ただし、海外からの旅行者は、今後ますます増える予想なので、景況は変わらないのではないかと。G7サミットを契機に海外からの旅行者が増え、日本の良い物、伝統工芸品等を購入して帰ってくれるようになれば、海外旅行に奪われるであろう国内消費も、持ちこたえるのではないかと。
□	一般小売店〔青果〕（店長）	・店頭販売は本当に悪い。ただし、売上は伸びている。これは、景気が悪くて辞めていく店や、後継者がいなくて辞めていく店等の納入先を譲ってもらって、売上が伸びているからである。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行して、外出機会の拡大が予想されるものの、物価高騰等の懸念材料は依然として解消されないため、向こう数か月では景況回復には至らない。
□	百貨店（営業担当）	・相変わらず、不透明な状況が続くことが予想され、来客数や客単価等にどう影響するか、なかなか見通せない。
□	スーパー（商品部担当）	・物価上昇の懸念はあるが、人の動きも多くなり、イベント等や地域行事の再開も増え、変化が見えてきている。ただし、すぐには変わらない。
□	衣料品専門店（販売担当）	・これからゴールデンウィークを迎え、恐らく旅行等に相当出費がかさんでいくと思われる。その後は梅雨が来るので、当店にとって客の動きが活発化する要素は見当たらない。残念ながら今と全く変わらないか、やや悪くなる可能性もあるのではないかと危惧している。
□	家電量販店（店長）	・天候による需要を除くと、来客数の増加につながる要因は見当たらない。現在も、必需品の需要はあるものの、前年を上回るくらいの来客数増加につながる要因は見当たらない。
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、生産ラインの稼働率が、新型コロナウイルス感染症発生前の85%くらいで推移している。ただし、受注後の納期が他メーカーより多少早く、2～3か月、遅くとも5か月以内の納車見込みで推移している。商業界では相変わらず、大規模小売店の独り勝ちというところである。
□	自動車備品販売店（経営者）	・コロナ禍も落ち着いてきており、経済活動は良くなる傾向にある。しかし、消費税、各種税金や社会保険料が上がるといったニュースで、消費マインドは若干盛り上がりせず、警戒し、冷え込む傾向にある。非常にデリケートに作用していることが、車の販売などからも感じられる。
□	住関連専門店（店長）	・多少の景気回復はあるかもしれないが、物価上昇による値上げを飲み込めるほどの回復はない。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の状況等もあり、見当もつかないというのが本音である。ただし、急に悪くなったり、良くなったりということはないだろう。
□	タクシー運転手	・歓迎会等が終われば、また元に戻りそうな気がする。
□	通信会社（営業担当）	・まだしばらくは、社会情勢不安や物価高傾向が続くと予想されることから、ゴールデンウィーク後は現状どおり変わらない。
□	通信会社（総務担当）	・新商品のラインナップが増え、販売が下がる一方から多少なりとも持ち直すかと期待される。
□	通信会社（局長）	・物価高騰の影響は今後も続く。
□	ゴルフ場（従業員）	・夏の猛暑や今後の物価高騰次第といえる。

	美容室（経営者）	・アフターコロナで、生活形態が様変わりしており、冠婚葬祭は簡素化している。美容師への髪結いや着付けのニーズもなくなりつつある。この低下傾向に、先の回復は見込めない。	
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響は下火になりつつあり、人の往来は増えている。ただし、経済に対する不安要素が多く、消費につながらない傾向は変わらない。	
	住宅販売会社（経営者）	・今のところ良くなる要素がほとんどない。古い住宅の売却物件が増えている感じがする。特に、高齢化した住宅の空き家が目立ってきている。	
	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・各種値上げは一段落したが、相変わらず納期が不安定である。急ぎの依頼や期限が決まっている事案は、対応に苦慮している。	
	▲ 家電量販店（店員）	・夏に向かって、季節商材が伸びの鍵を握っている。	
	▲ 一般レストラン（経営者）	・今はコロナ禍の反動で、久しぶりに人と会うといった感じなので、一巡したら落ち着いてくる。物価高の影響はかなりある。	
	▲ その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・今年は今から非常に暑く、2～3か月後には冷房等、電気料金の値上げが深刻で、経営に影響することも考えられる。企業努力でカバーするのは、かなり難しくなってくるのではないかと。値上げや商材のクオリティ、食材等に転嫁すると、客離れになると考えている企業が、結構多い。	
	▲ その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・コストのなかでも、食材費、水道光熱費、求人関連費の上昇が特に厳しくなっている。人手不足、食材費や水道光熱費の上昇が続いていることから、収支面は当面厳しい状況が続く。	
	▲ 都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行の期待感に反して、大人数の宴会は本当に少ない。	
	▲ 都市型ホテル（支配人）	・全国旅行支援が終了することや、近隣ホテルが新型コロナウイルス感染症患者受入れ施設から通常営業に戻るため、やや悪くなる。	
	▲ 通信会社（経営者）	・米国の景気後退懸念が強まれば、日本もそのおおいを受ける可能性がある。そもそも地方では、高齢化と人口減で市場が年々しぼんでおり、顧客数は減少の一途である。この問題を抱えている以上、大局的には景気は常に右肩下がりにならざるを得ない。	
	▲ 住宅販売会社（経営者）	・個人の消費が少額物件から変化しつつあるが、高額な土地や建物については、まだ動きが鈍い。これから先、起爆剤になるようなことが見当たらない。	
	× 一般小売店〔家電〕（経営者）	・物価高の影響がここに来て、より一層出てきている。いつになったら収まるのか。このままでは商売上がったりである。	
	× 乗用車販売店（経営者）	・新車納期がいまだに長期化しており、回復の見込みがない。	
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	金属製品製造業（経営者）	・親会社と値段交渉の結果、やっと2社の値上げが決まったことに期待して、これからも頑張るつもりである。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先より応援生産の要請もあり、設備投資も含めて対応を検討している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・期待を込めて良くなって欲しいし、インバウンドの増加に伴って、物が動くことで製造業にもプラスになると思われる。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の来月からの生産計画台数は、増産傾向にある。それに伴い受注は増加傾向にある。半導体不足が今後どのくらい影響するのか、いまだ読めないものの、以前よりは生産が安定してきている。
	○	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行で、景気も少しずつ良くなっていくのではないかと。
	○	経営コンサルタント	・企業経済活動の回復基調と個人消費や生活の活発化の前に、長期化するウクライナ戦争やコロナ禍の影響は遠くへ押しやられつつある。後は、人材確保のための賃金上昇の程度と雇用の安定次第で、地域経済活動が更に盛んになる。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現在の受注量や金額からみても、収益は改善される。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・当分の間は、受注量、販売量に大きな変化はない。

	□	電気機械器具製造業（経営者）	・8月以降、9月頃からは伸びていくのではないかと考えている。まだ、そこまでの受注はもらっていないが、多分、その辺りから本格的に動き出すとみている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・現状は比較的变化なく推移しており、今後3か月先も同じように推移する。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先の様子や受注量等も全く変わらないが、5月は連休が9日あるので、若干落ちると思われる。
	□	輸送業（営業担当）	・今後、夏物家電、エアコン、扇風機、サーキュレーター等の物量は前年並みを確保予定である。また、キャンプ、レジャー用品も同様である。ただし、ドライバー不足は続いており、協力会社の車両費高騰もあり、依頼された物流を行う場合に必要な車両費が高く、利益は厳しくなりそうである。
	□	不動産業（管理担当）	・諸物価高騰分の価格転嫁が進んでおらず、交渉はしているものの、取引内容の減少など相対的に現状維持の利益を出すのがやっとの見込みである。
	□	広告代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークの人の動きはありそうだが、宣伝広告の出稿は増えていない。
	□	司法書士	・世の中が動き出した感じなので、業務相談の客は頻繁に来ているが、まだ具体的な仕事にはなっていない部分がある。今後、それがどうなるか分からないが、余り変わらないのではないかとというのが、今のところの見通しである。
	□	社会保険労務士	・大手企業の夏のボーナス支給額は増加するだろうが、海外の景気減速が気掛かりである。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・引き続き、取引先からの受注状況が低調なため、やや悪くなる。
	▲	建設業（総務担当）	・新年度に入ってから、動きが鈍く、先行きが大変不安である。
	×	建設業（開発担当）	・今期の公共工事は前年比で5%減少、前々年比では19%減少と厳しい。当社売上も10%減少という厳しい状況であり、決算が赤字にならないか心配である。
雇用 関連 (北関東)	◎	学校〔専門学校〕（副校長）	・経済の活発化が更に進展していくと思われる。
	○	人材派遣会社（経営者）	・ゴールデンウィークをこれから迎えるが、予約は大分取れているとのことである。それに伴う食料品や衣料の動きが若干あり、農作物等も青果が出ている。鶏肉は鳥インフルエンザの影響もあるだろうが、一般的な季節商材はかなり伸びてきている。
	○	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症も収束してきて、人の動きは活発になってきている。新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり、これまで動けていなかったストレス発散のような形で、今後ますます旅行や経済活動が上向き、反映され、ホテルの稼働率も、先々、上がっていくだろう。当社及び周辺企業は忙しくなってきた反面、人手不足で、人が潤沢にいれば、仕事をもっと活発に回せるだろうと思っている。
	○	人材派遣会社（従業員）	・求人数は増えているものの、求職者が少ない。今月に入ってから、求職者も少し増えてきているので、やや良くなる。
	○	職業安定所（職員）	・卸、小売、宿泊、飲食サービス業で、求人数の増加傾向が顕著である。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人依頼数があっても、人材不足の状況が改善されないため変わらない。50代以上の人材を積極的に採用することが必要である。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・正社員求人への希望者が多く、派遣採用予定数が少ない状況である。正社員採用までのつなぎとして派遣を活用している方が多く、採用数が多いものの、退職数も多くなっている状況が継続している。
	▲	職業安定所（職員）	・全般的に物価が高騰していることや、米国、スイスの大手銀行が破綻していることを鑑みると、悪くなっていく。
	×	*	*